

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 3 日

評価対象事業		評価者	みどり公園課長 秋山崇	
都景-18	公園整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	みどり公園課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(1) みどり	施策の方針	3-(1)-②都市公園の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公園緑地等の適切な整備を図るため。
効果	公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

2 令和4年(2022年)度実施した事業の概要

- ・山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・山崎・台峯緑地（風致公園）の整備工事をを行い、供用区域を拡大した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	山崎・台峯緑地等樹林管理事業	維持管理等業務委託料、管理業務委託料等	-	/			
02	山崎・台峯緑地等整備事業	工事請負費	人口1人当たりの都市公園面積(各年次4月1日時点)(㎡/人)	10.36 / 23,485	11.5 / 0	24,441 / 0	90.09%
03	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金	-	/		5,911	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	11,900	0	0	
			地方債	10,700	0	0	
			その他特定財源	0	200	200	
			一般財源	30,191	29,211	30,152	
			事業費の合計(千円)	52,791	29,411	30,352	
		人件費(千円)		7,596	8,572		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.5	2.0	1.0	1.1		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	山崎・台峯緑地等樹林管理事業	都市公園用地の管理や樹林の手入れ、要望・苦情への対応が主であり、事業の目標や進捗状況を数値化するのは困難である。	都市公園用地として取得した土地を適切に管理することは本市の責務である。	人員や予算等が不足しており、良好な都市環境の形成に支障が生じているばかりでなく、自然災害発生リスクも高まっているため、人員や予算の拡充を検討する。
02	山崎・台峯緑地等整備事業	令和2年(2020年)4月に山崎・台峯緑地(風致公園)の一部を供用開始し、令和4年(2022年)5月に区域を拡大したため、令和5年(2023年)4月1日時点の実績値は大きく向上した。指標は緑の基本計画における中間年次の目標値であり、着手していない事業もあるため未達となった。	上位施策における主要な事業である。	山崎・台峯緑地(風致公園)の施設整備工事が終了し、令和4年(2022年)5月に供用区域を拡大したが、山崎・台峯緑地(都市緑地)基本設計についての予算が削除され、開園に当たって民有地隣接の防災工事を行う必要があるため、今後の施設整備工事実施に向けて引き続き予算の要求を行っていく。
03	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金	UR都市機構と締結した償還契約書に基づいて支払い事務を行うものであるため、事業の目標や進捗状況を数値化するのは困難である。	既に完了した公園整備事業に係る費用の償還であり、このこと自体が現在の上位施策に直接寄与するものではないが、構成する事業としては必須である。	令和16年度まで償還を継続する。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>山崎・台峯緑地(風致公園)の施設整備工事が終了したため事業費は一旦縮小するが、令和5年度(2023年度)以降は順次、山崎・台峯緑地(都市緑地)の令和10年度(2028年度)の事業完了を目指して基本設計、実施設計、施設整備工事に取り組んでいく。また、都市公園等整備事業用地維持管理等業務委託については、用地取得の進捗に伴い維持管理対象地が増加していることから、人員や予算の拡充を検討する。</p>	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	人口1人当たりの都市公園面積(各年次4月1日時点)						単位	m ² /人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
事業の進捗状況を把握する。	目標値	8.7	9.8	10.3	10.3	10.3	10.3	
	実績値	8.71	9.80	9.90	10.36			
	達成率	100.1%	100.0%	96.1%	100.6%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	人口1人当たりの都市公園面積(令和3年度末時点・神奈川県ホームページより)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	茅ヶ崎市	大和市	葉山町
他市実績	9.90m ² /人	17.30m ² /人	16.24m ² /人	9.17m ² /人	5.30m ² /人	3.36m ² /人	3.31m ² /人	19.49m ² /人

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	市町によって数値にバラつきがあるが、横須賀三浦地域の中では中間値となっており、豊かな都市環境の創造や、子育て環境の整備に向けて、更なる公園整備の推進が必要である。
--------------------------	---